

事業計画書

平成 30 年度の事業計画を 4 つ事業に大別して示す。

1. 刊行事業
2. 講演・講習会等の事業
3. 会議・委員会・部会活動推進事業
4. その他の事業(開発・研究関連等)

1. 刊行事業

会員に愛読されている協会誌をはじめ以下の刊行事業を予定している。

- (1) 協会誌「強化プラスチック」(Vol.64,No.4～Vol.65,No.3)
- (2) 63rd FRP CON-EX 2018 講演要旨集
- (3) 刊行物、記念出版物の販売
- (4) 出版物の増刷、改訂、協会パンフレットの改訂

2. 講演・講習会等の事業

- (1) 講演・講習会・セミナー等

【当協会が主催するもの】

① 63rd FRP CON-EX 2018 (第 63 回 FRP 総合講演会・展示会)

実行委員会構成 順不同敬称略

主催者団体責任者 邊 吾一(強化プラスチック協会会長)

講演部門委員長 青木義男(日本大学)

展示部門委員長 藤解真司(積水アクアシステム)

実行委員

坂井建宣(埼玉大学)、荻原慎二(東京理科大学)、上田政人(日本大学)、
坂田憲泰(日本大学)、小笠原俊夫(東京農工大学)、
清水研一(東京都立産業技術研究センター)、小熊広之(埼玉県産業技術総合センター)、
石川宏美(千葉県産業支援技術研究所)、柏女浄照(AGC マテックス)
山下節三(エフ・アール・ピー・サービス)、山下聡志(積水アクアシステム)、
佐藤和夫(日油)、鈴木貴丈(北関工業)、橋本博文(三菱ケミカルインフラテック)
中村賢一(オーウェンス コーニング ジャパン)、市川鉄雄(昭和電工)、
高木宏之(DIC マテリアル)、古屋秀樹(日本ユピカ)、三野大輔(日東紡績)、
山村亮輔(FOCUS)、山中 豊、角田 敦、大熊秀夫、東海林芳郎(協会事務局)

会 期 平成 30 年 10 月 25 日(木)、26 日(金)

会 場 日本大学理工学部 駿河台校舎 1 号館

(〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14JR 御茶ノ水駅より徒歩 5 分)

技術交流会 平成 30 年 10 月 25 日(木) 夕刻 場所: 1 号館 カフェテラス

② FRP 懇話会

第 13 回

期 日：平成 30 年 5 月 23 日（水）17 時～19 時頃

会 場：強化プラスチック協会 会議室

話題提供者：コムテック 代表取締役 池田哲雄 氏

題 目：緑地や公園等に設置する FRP 構造物の事例について

③ 第 31 回 FRP 入門講習会

期 日：平成 30 年 6 月 19 日（火）

会 場：日本大学理工学部 駿河台校舎

企画実施 情報・編集委員会

【当協会が共催/後援/協賛するもの】関連 学協会 の依頼に対応

関西 FRP フォーラム【FRP 入門講習会】

（関西 FRP フォーラム、強化プラスチック協会共催）

期 日：平成 30 年 9 月 13 日（木）

会 場：大阪産業技術研究所 森之宮センター

他に後援/協賛を予定（約 35 件）

3. 会議・委員会・部会活動推進事業

各々の組織内コミュニケーションを十分に図りながら、この業界のニーズに応えられる活動を展開する。

< 3-1 会議関係 >

運営会議

当会議は会の事業・予算等及び各委員会の設立廃止に関し立案し会務を運営することを主務としている。例年同様、業界ニーズに的確な対応を図り産業振興に寄与する。

< 3-2 委員会関係 >

(1) 情報・編集委員会

毎月 1 回開催して協会誌の編集、掲載記事候補、特集の企画、協会誌読後感想、「まちかど F+R+P」他を審議・推進する。化学系のやさしいシリーズ解説の内容・章立てを検討し、準備ができ次第開始する。

ホームページのリニューアル版の継続的改善を実施し、充実させる。

電子メールでの会員の声の投稿先、「まちかど F+R+P」の投稿先を継続的にご案内し、また、毎号協会誌発行後に会員メールで読後のご意見・ご感想を求め、前述の会員の声と共に協会誌の「会員・読者の欄」で公開することにより、会員とのコミュニケーションを密にして活性化に繋げることを継続実施する。

(2) 国際交流委員会

・海外展示会・講演会（視察）：

- CCE2018 (9月5日～7日 上海)、CAMX 2018 (10月15日～18日 ダラス)、JEC Asia 2018 (11月14日～16日 ソウル)、JEC World 2019 (3月12日～14日 パリ)
- ・協会誌：前項海外視察の各報告の掲載(4回程度/年)
- ・63rd FRP CON-EX 2018 (10月25日～26日 東京・日本大学理工学部)
国際交流員会委員会報告

(3) 技能振興検定委員会

必要に応じて厚生労働省、中央職業能力開発協会へ協力する。

- ・FRP 技能検定制度の活用を各省庁に働きかける。
- ・FRP 成形に対する問合せへの対応。

(4) FRP性能評価委員会

多方面からの依頼に基づき FRP 材料の機械的特性等を性能評価委員会委員各位の協力を得て対処、その評価結果を委員会にてオーソライズし協会 会長名で回答処理 (報告書を発行) する。今後も引続き事前相談等に適宜対応する。

(5) 規格標準等関係委員会

JIS K 7012 は、2013年に改定された。

附属書 A (規定) 貯槽本体、ノズル及びマンホールの接合部積層厚さ及び積層長さの計算方法を協会規格化などに向けて検討している。

(6) 環境委員会

- ・諸官庁 (特に厚生労働省。消防庁、経済産業省、環境省他、地方自治体関連部署からの問い合わせ他) に対応
- ・上記 調査結果や諸対応事項について会員各位に会誌 HP 等で広報

(7) 表彰委員会

情報編集委員会の協力を得て引続き会誌等により広報し、各候補者推薦を広く募ると同時に、推薦のあった各賞候補者につき審議を行う。

< 3-3 部会関係 >

(1) 原料部会

FRP 業界の市場動向の調査/分析並びに協会活動を積極的に協力/支援する。

- ①本年の国内「不飽和ポリエステル樹脂 (ビニルエステル樹脂含む)・ガラス繊維使用 FRP 製品」の用途別、成形法別出荷推計資料の作成と定期広報
- ②JEC World 2018 ミニレポート作成、協会誌 6月号掲載
- ③63rd FRP CON-EX 2018 での需要動向報告と運営協力
- ④JEC World 2019 に参加(2名予定)

(2) 耐食部会

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 第1回耐食部会・第18回劣化診断分科会合同開催 | 4月19日 (東京) |
| 第19回劣化診断分科会 | 7月19日 (尼崎) |
| 第2回耐食部会 | 10月18日 (東京) |
| 第3回耐食部会 (技術交流会) | 12月20日 (東京) |
| 第4回耐食部会 | 2月21日 (東京) |

(3) 給水タンク部会

- ・給水タンクの市場動向掌握
- ・防災型水槽の認定制度検討
- ・給水タンクのランキング表示制度(管理適正化推進協議会)への参画
- ・水槽診断士制度の見直し/技術的協力
- ・関連各団体の研究会/委員会/講演会への参画

(4) タンクローリー部会

- ・6月度より再活動
- ・成形技術の情報収集と実技講習会の実施
- ・製品基準書と認定制度の見直し

(5) FRP引抜成形工業部会

- ・現在1社だけのため組織的な活動は休止中。
- ・FRPユーザーからの協会への問い合わせに対して、引抜関連製品について個別にフォローを行っていく。

(6) 橋梁開発専門委員会準備委員会

連続繊維補強材をRC、PC構造物に採用する場合の設計・施工指針を作成するにあたり、最新の知見、関連規準類などから材料の性能および照査方法を確認して、草案を作成する予定。(プレストレストコンクリート工学会関連)

- ・全体委員会1回、幹事会4回開催予定。
- ・アメリカの基準を作成したローレンス工科大学のProf.Graceを招いての会議、講演会の開催(6月1日)
- ・設計・施工指針(案)の完成。
- ・強化プラスチック協会からの委員派遣(主に樹脂関連)

(7) 廃FRPの再資源化

廃FRPの再資源化は、各地のGFRPの再資源化業者に依頼して処理する工程が確立されている。

廃FRP発生に伴う問合せに対する再資源化業者の紹介で対応している。

各種媒体を活用して廃FRPの再資源化をPRする。

4. その他事業(開発・研究開発等)

平成30年度から、研究会名称を変更し統合化して推進する。

(1) 第16回先端材料・技術研究会

平成30年5月16日(水) 埼玉県産業技術総合センター

(2) 第17回先端材料・技術研究会

平成30年8月29日(水) 海上技術安全研究所(三鷹)

(3) 第18回先端材料・技術研究会

平成31年2月、島津製作所(京都)の予定